

令和3年度

教育課程研究集会

小・中学校 総合的な学習の時間

総合的な学習の時間において ICTを活用する際のポイント

奈良県教育委員会事務局学校教育課
指導主事 堺 隆宏

総合的な学習の時間の指導においてICTを活用する際のポイント

小学校学習指導要領 第5章 第3の2(3)

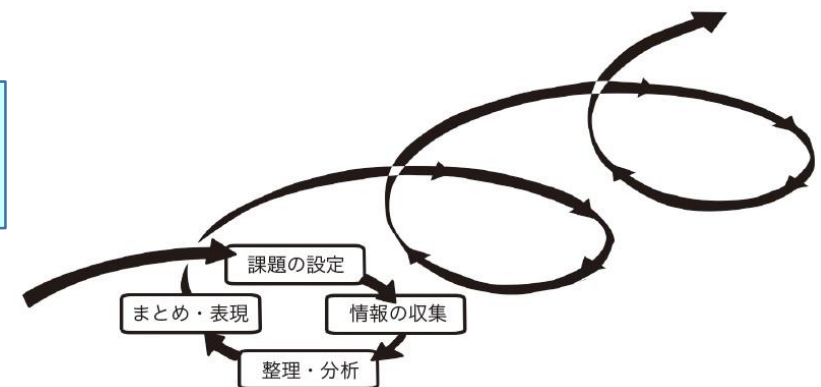
探究的な学習の過程においては、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ効果的に活用して、情報を収集・整理・発信するなどの学習活動が行われるように工夫すること。その際、コンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得し、情報や情報手段を主体的に選択し活用できるように配慮すること。

※中学校学習指導要領は、第4章。下線部の記述なし。

探究的な学習の過程において

情報を収集・整理・発信するなどの学習活動

主体的に選択し活用



総合的な学習の時間の指導においてICTを活用する際のポイント

学習の質を高めるポイント

- ①課題の設定・・・グローバルな課題、ローカルな課題、情報の蓄積による個に応じた課題設定が可能
- ②情報の収集・・・多様な情報、多量な情報、最新の情報、加工しやすい情報を、いつでも、どこでも、素早く、手軽に調査し収集することが可能
- ③整理・分析・・・デジタルデータを検索、分析するなどして情報を再構成したり、プログラミング的思考を育成したりすることが可能
- ④まとめ・表現・・・校内のみならず、国内外への多様な発信、手軽な制作と加工の繰り返し、成果物の継続的な蓄積が可能

中学校における実践例

育成を目指す資質・能力

自分たちの暮らす村について探究する活動を通して、村の自然と先人の知恵などに気付き、適切に課題を設定し、比較したり推測したりして考え、論理的に表現するとともに、故郷への誇りや愛着を深め、それらを自分の生活や生き方に生かそうとする。

I C T活用のポイント

比較したり推測したりして考え、論理的に表現させる手立てとしてI C T端末を活用する。

I C Tの活用例

①ウェブブラウザを活用した調査活動

自分たちが暮らす村のことについて、グループごとにテーマを設定して調査した。地域へのフィールドワークや地域の人への聞き取り・アンケート等を行い、情報を収集した。しかし、調査領域が広く、実際に現地へ出向いて調査を行うことに限度があるため、I C T端末のウェブブラウザを活用した情報の収集が有効であった。

②プレゼンテーションソフトを活用したまとめ・表現活動

下学年の生徒、教職員等に向けて発表するため、調査したことをグループ内で分担し、I C T端末のプレゼンテーションソフトを活用してまとめた。発表会は、グループごとにブースを設けるポスターセッション形式で行った。I C T端末を活用することにより、作業を分担することができ、スムーズにまとめることができた。また、視覚的にも分かりやすいプレゼンテーションを作成することができた。

総合的な学習の時間の指導においてICTを活用する際のポイント

ICTの活用についての配慮事項

育成を目指す資質・能力を明確にし、その力を付ける際の手段としてICTを活用する。

探究的な学習の過程において、ICTを適切かつ効果的に活用できるようにする。